

令和2年度予算の編成にあたって（ニセコ町長方針）

令和2年度は、将来に向けて持続する社会づくりの基盤整備を強化する。

- 「環境モデル都市」「SDGs 未来都市」「地域循環共生圏」の推進
- 「子育て支援の強化・拡充」
⇒日本ユニセフ「子供にやさしいまちづくり」の検証と具体的行動
- 「住宅不足緩和」への対策強化
- 「持続する社会」形成のための基礎的な検討推進
- 「水資源保全、緑地、まちづくり」のための用地の確保

1 『環境創造都市ニセコ』の実現に向けて《ニセコ町総合計画》

- 1) 資源と経済が循環するニセコ
- 2) 人の力が発揮され笑顔が広がる「心温かなニセコ」
- 3) 町民のみなさまとともに、みんなで築く「元気なニセコ」

2 まちづくりのための10の目標

- ① 農業所得向上対策の実践による夢のある農業
- ② 農業と商工観光が連携し、自律した循環型経済の地域
- ③ 水環境を守り、地球環境負荷を低減させる「環境モデル都市」
- ④ 教育環境を整備・拡充し、安心して子育てができる教育のまち
- ⑤ これまでの社会を創ってこられた高齢者を大切に作る温かなまち
- ⑥ 医療と福祉の拡充による安心のまち
- ⑦ 消防・救急体制整備による災害に強いまち
- ⑧ お互いを尊重し、頑張る人を応援する人の輪が広がるまち
- ⑨ 地域の産業を育て、雇用と暮らしを守る内発的産業育成のまち
- ⑩ 公正で効率的な自治体運営を実践する地方政府の確立

3 予算規模の大きな事業及び特記事業

- 1) 「SDGs 未来都市」「環境モデル都市」「地域循環共生圏」の推進
- 2) 「自治創生」「国土強靱化計画」「事業継続（BCP）計画」事業の推進
- 3) 国営緊急農地再編整備事業の推進
- 4) 役場防災庁舎の整備
- 5) ローカルスマート交通対策(域内交通・広域交通)の検討・確立及び実施
- 6) 省エネ、再生可能エネルギーの導入促進（町内の全てにおいての視点）

- 7) 道の駅ニセコビュープラザ再整備実施計画の策定
- 8) 町民プールの整備計画の樹立(場所、概算事業費、補助金の選定、**継続**)
- 9) こども遊び場の創設の多角的な検討(子供にとって遊ぶことは生きること)
- 10) 子育て支援策の拡充検討(**継続**)
- 11) 有島記念公園牧場跡・羊舎の活用方策樹立及び整備着手(**継続**)
- 12) 道路・橋梁・公営住宅の長寿命化の更新及び実施
- 13) 無電中化の推進に向けた検討強化
- 14) 水道施設の整備促進
- 15) 観光目的税の創設
- 16) 国際リゾートオフィス、テレワークの拠点の推進
- 17) 自主防災組織の設立、停電対応電源等の整備
- 18) 行政改革、AIの導入及び調査実施
- 19) 文化、芸術、コミュニティ、防災、健康づくり等、町民研修機会の拡充
- 20) 教育委員会が進める公営塾の創設及び放課後こども教室の移転支援
- 21) 国際交流員、地域おこし協力隊、集落支援員の拡充
- 22) 自治会・町内会未設置個所の解消及び自治会加入率の向上
- 23) ごみ減量化の推進、リサイクルへの周知活動の強化
- 24) 防災ラジオの配布率の向上
- 25) 会計年度任用職員制度への対応
- 26) 職員の福利厚生充実及び職員研修の強化

4 基本的な事項

- ① 「最小の経費で最大の効果を」との「旧来型発想から脱皮」し、住民の福祉向上とニセコ町の活性化のため「最大の効果を最小の経費」で実施するよう発想の転換を。
- ② 時代遅れの「当初予算主義から脱皮」し、必要なことは直ちに予算化着手し、スピード感を持って「まちづくり」や「組織改革」に挑戦を。課題を先送りしないこと。
- ③ 「縦割り意識を排除」し、関係課・係との情報共有・連携に勤めること。「たぶん、〇〇だと思う」など推測による議論・結論は最悪。「必ず事実の確認」を行うこと。
- ④ 町の施設整備や備品見積もり等は、自宅(自分のお金)で購入すると同じ視点で、多様な検討を加え、利用者の利便と維持経費等総合的な検討を。
初期投資を安価にすることに拘泥することなく、ライフサイクルコスト・将来の価値を考えること。(安ければ良いからの脱皮)
- ⑤ 良い仕事をするうえで、情報の収集と研修・自己研鑽は、極めて重要である。各課において、職員の資質向上や町のためになす活動については、創意と工夫をしつつ積極的な予算づくりに努力願いたい。地域に飛び出す職員を応援する。
「前例主義での予算づくりから脱皮」を。

- ⑥『環境モデル都市』『SDGs 未来都市』として、地球環境負荷の低減、持続する循環社会、そして、「人間の尊厳を大切にすること」を基本として予算づくりにあたること。
- ① 物質循環、②エネルギー循環、③経済循環 を基本とする。
- ⑦「日本国憲法」「ニセコ町まちづくり基本条例」「ニセコ町総合計画」「ニセコ町総合戦略」をはじめとする各種計画を念頭に予算編成を。
- ⑧ 前年要求予算が付かなかったことをもって、予算要求をしないことがないこと。
⇒ 真の必要性を検討する。
また、R2年度予算で計上する理由を確認すること。
- ⑨ 地域にある資源を有効に活用すること、地域にある産業、事業所、農業等の内発的産業の支援。また、地域で頑張っている人を応援することに最大限の努力を。
- ⑩ 課長等のリーダーシップのもと、仕事をシェアするなど助け合い、時間外勤務を抑制する。また、職員の健康・福利厚生・休暇の取得等に十分配慮し、元気で明るい職場を創る。相互に助け合い、有給休暇完全消化の職場を目指す。
- ⑪ 前例主義から脱皮し、先進性を持って新たな視点で仕事を整理すること。
・「自ら考え行動する」「当事者意識を持ち、他者の責任に転嫁しない」
「自治体との比較」⇒ 遅れた自治体とニセコ町を比較する意味があるのか。
「前年度との比較」⇒ 長期的視点の欠落、複数年予算の検討を視野に。
- ⑫ 環境美化に努め、公共トイレは再度確認を。利用者にとってトイレは、使いやすく快適か。子ども、乳幼児、子育てへの配慮はあるか。
- ⑬ 仕事における全ての発想の原点は、主権者である町民の視点と暮らし。
⇒ 公共の3原則＝公益・公正・公開
- ⑭ 国や北海道とは、対等・協力の関係にあることを自覚し、誇りを持って職務に邁進願いたい。

(2019.10.23 Katayama Kenya)